

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」岡崎校		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 2日		～ 2024年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	58名	(回答者数) 53名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 2日		～ 2024年 12月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人困りごとが異なるので、お子様の課題に合わせて支援のプログラムを作成している。 その日の体調や、心理的状況によって臨機応変に支援の内容を変えている。 	<p>お子様の成長に応じて担当者の変更を行ったり、小集団の支援を行うなど「いつもと違う」状況でも対応できるように、お子様の様子をしっかりと観察しサポートする。</p>
2	保育園・幼稚園、学校、医療機関等との連携	<ul style="list-style-type: none"> 学校等集団生活の場でどのように過ごしているか、また、困り事はどんな事かを学校と情報共有を行う機会を設けている。 かかりつけの医師や心理士と情報の共有を行い、支援方針について相談を行い支援方針を決めている。 	<p>一部の学校には許可をいただき訪問することが出来ているため、今後も通所頂いている利用者様の通学している学校や医療機関など、関係機関と連携を図っていける様に働きかけていく。</p>
3	SNS等による情報共有	<ul style="list-style-type: none"> 毎日のInstagram投稿、1週間に1回、支援に使用する教材や、イベント、支援の様子、校舎内の取り組みについて情報の発信を行っている。 	<p>「きらり」岡崎校の取り組みの様子、支援でのお子様の様子などを知っていただき、お子様に「楽しそう」「行きたい」と思ってもらえるような様子を発信していく。</p>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様向けのイベントがない	<p>お仕事をしている保護者様も多く、平日の開催が難しい。土曜日や、祝日は支援のご希望が多いことからイベントのスペースを確保することが難しい。</p>	<p>単発のイベントにならないよう、年間を通して複数回企画するなど、参加しやすい予定や時間設定を考えていく。</p>
2	支援室の上部が開放されており、隣の部屋の声などが聞こえてしまう	<p>構造上変えることができない。虐待防止の観点からも塞ぐことが難しい。</p>	<p>状況に応じて使用する部屋を変更するなど臨機応変に対応していく。</p>
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」岡崎校
------	-------------------

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 58名 回収数 53

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	48	5	0	0	・少し狭く感じるときがある。 ・早めに行っても子供が待機できたり自習でできるスペースがあるとのお楽しみ。 ・広々とした部屋を利用して、動きのある支援も入れてくれている。	待機スペースが少なく、ご迷惑をおかけしております。利用者様の入れ替わりの時間がおおよそ決まっているため、スムーズにご案内できるよう調整させていただきます。
	2 2025年 1月 17日	47	5	0	1	・もう少し職員さんが居れば、空きがあのかなと感じる。	ガイドラインに基づいて人員の配置をしております。空き状況に関してはご迷惑をおかけしておりますが、1日の定員が決まっていることから、職員が増員しても受け入れが出来ないため、ご理解いただけますと幸いです。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	48	2	0	3		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	50	0	0	3		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	51	0	0	2	・子どもの情緒が不安定な時、臨機応変にその日のプログラムを無理せず取り組めるように変更したり、前向きになれるような声かけをしたりなど、気持ちに寄り添ってくださるのがありがたい。	ありがとうございます。引き続き、お子様に寄り添った支援が出来るように努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	51	0	0	2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	51	1	0	1		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	51	1	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	51	1	0	1	・宿題と苦手な分野が取り組めるとい。いつも宿題で終わってしまう為。	R6年度より5領域を踏まえた支援が必要になり、学習に取り組む時間が少なくなっております。時間の配分を考え、お子様が必要な支援を提供してまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	52	1	0	0	・基本の活動（時計・ひらがな等）は毎回入れて貰いつつ本人が飽きない様に毎回工夫して貰っていて助かる。	ありがとうございます。引き続き、お子様が楽しく課題に取り組むことが出来るように課題を考えてまいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2	40	9	・この点は求めているので問題ない。 ・支援の特性上、必要ないと感じる。 ・学区の学校に行っているの、特に必要と思わない。 ・学校があるので、特に求めているない。	個別支援の特性上、地域のお子さんと活動する予定はございません。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	52	0	0	1	・制度なので、事業所さんに訴えても仕方ないことだが、自己負担額がきつい。	いつもご利用いただきありがとうございます。ご利用料金に関しては、ご理解いただいておりますように、国で決められております。	
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	52	1	0	0			

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	10	12	26	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングorアンガーマネジメントを、サラッとでも学んでみたいと思っているので、講座等の機会があればぜひ参加してみたい。 ・家族としての接し方は個人的に相談して、教わっている。勉強会があれば、積極的に参加したいと思う。 ・この先の進路について、通信制や専修学校など、どのような選択肢があり、どのようなメリットやデメリットがあるのか、教えていただける機会をつくってほしい。また、そこへ進むために今から準備することなども知れる機会がほしい。 	沢山のご意見ありがとうございます。保護者様に情報の提供が出来る機会や、相談会、勉強会の場を検討して参ります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	51	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに学校の様子まで気にかけてもらってありがたい。事業所、保護者、学校と連携できれば理想なのと思う。 	今後も学校や保護者様、関係の医療機関など、お子様に関わる機関との連携を構築してまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	42	9	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回のフィードバックの時、日々子どもへの対応に悩んで、つい弱音や愚痴を吐いてしまうことがあるのですが、共感やフォロー、アドバイスをいただけて、気持ちも軽くなっている。 ・そのつど、お話しさせてもらって、対応を一緒に考えてもらっている。 	引き続き保護者様と一緒にお子様の成長について考えてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	48	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・学校(教育)で理解してもらえないことを、いつも共感してもらえて心が救われる。 ・定型にはまれない子どもを育てていると、寄り添ってもらえることは安心に繋がっている。 	ありがとうございます。今後もご安心いただける場となるよう、努力してまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	7	33	12	<ul style="list-style-type: none"> ・必要だと思わない ・保護者同士の交流ができると嬉しいが、特にきょうだい交流は求めていない。ほかの学校の支援級の保護者さんとお話してみたい。 ・障害者サークルなどの親の集まる会の紹介をしてもらえると嬉しい。 	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	44	5	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも突然でも対応していただいている。 ・個別懇談会での話など、すぐ伝えさせてもらって、対応してもらっている。 ・いつも突然でも対応していただいている。 ・個別懇談会での話など、すぐ伝えさせ 	ありがとうございます。今後もご心配事やお困りごとがある際はお気軽にお声掛けください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	50	2	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	39	4	0	10	<ul style="list-style-type: none"> ・自分はInstagramをやっていないので、よくわからない。SNSはどんな感じなのかと思うことがある。 ・事業所の壁に掲示されていて、見やすい。 	ありがとうございます。校舎内にてInstagramの投稿内容をご覧いただけます。お気軽にお声掛けください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	52	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	37	6	0	10		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25	9	1	18		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	38	5	0	10		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	36	7	0	10		
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	42	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・最近少し行き渋りがちだが、行けば先生が優しく寄り添ってくれるのはちゃんとわかっているので、親子ともども安心して通所している。 	ありがとうございます。気分の優れないこともあるかと思いますが、お越しいただいた際は安心して楽しく過ごしていただけるよう努めてまいります。

満足度	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	49	3	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・最近「家でゆっくりしたい」という気持ちも強くなり、以前ほど前向きではなくなりましたが、行けばいつも最後は笑顔なので、こうして長く通い続けられたらいいな…と思っている。 ・部屋の飾りも季節で変えられているの ・もう少し、支援時間が長いとありがたい。 ・年少から通って5年目になりますが、担当の先生はもちろんだが、教室のどの先生にも安心してお任せすることができてる。 ・子どもの集中力を考えると仕方ないが、親の欲を言えば、もっと長い時間やれたらいいのと思う。また学校の下校が遅れて時間に間に合わないこともあり、時間が減ってもったいないと思うことがある。学校側のことなので、仕方ないが・・・。 	<p>ありがとうございます。「きらりに行きたい!」と思っていただけるよう職員一同努めてまいります。</p>
	29	事業所の支援に満足していますか。	51	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・長期にわたりご利用いただき、ありがとうございます。 ・また、支援時間の延長については以前よりご意見をいただいております。現在、平日夕方と土曜日に空きがなく、連続して長い時間の支援のスケジュールを組むことがが難しい状況でございます。スケジュールに余裕が出来ましたら、検討してまいります。 	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」岡崎校			公表日	2025年 2月 15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	利用者の1時間の受け入れ人数も支援員の数と一致できるように配置し、支援室も同数にして、無理なく行えるようにしてある。	広い支援室が1室ということもあり、運動に関する支援を行う際は調整が必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	打合せや利用予定表の作成時に職員の配置数を共有している。	振替等の対応が難しい状況や、受け入れの際にお出迎え出来るように職員配置を希望している。
	3	2025年 1月 17日	5	2	担当支援員の名前を支援室のドアに掲示しており、どの部屋で支援を受けるかわかる様になっている。視覚的に情報を伝達できるようにお知らせ等掲示している。支援室は集中できるように不要な掲示をしないように工夫している。	洗面、トイレは段差がありバリアフリーにはなっていない。今年度事務室の浸水防止工事を行ったこともあり、事務室にも段差がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	毎日掃除をしており、その子の体格に合わせて机の配置や特性に合わせた部屋の場所、緊急事態での代替支援空間を職員間で共有している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	個別対応であるため、必要に応じて事務室で行ったりしている。	個室での支援を行っているが、部屋の上部が空いているため、隣室の声等が気になってしまうことがある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	毎月の職員会議で議題に挙げ、参加している職員で話し合い、参加できていない職員にも共有できるようにドキュメントに記録を残している。	公休等の兼ね合いで全員で会議を行うことが難しい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者からの評価をいつでも職員全員が見られるように設定しており、随時話し合ったりしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	毎月の職員会議で話し合い、改善できる点を出していき、次回からの改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5	外部評価は行っていない。	状況に応じて検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	定期的に社内研修が開催され、積極的に職員皆が参加している。	スキルアップのため社外の研修にも参加していきたい。
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	支援プログラムはHPにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	毎年のアセスメント作成に加え、半年に1回のモニタリングでその時の利用者に合わせて作られている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	モニタリングシートを作成する際に担当支援員も参加したり、保護者との聞き取り後に担当支援員との情報共有を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	モニタリングシートを作成する際に担当支援員も参加したり、保護者との聞き取り後に担当支援員との情報共有を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	ツールを使用し、アセスメントを作成確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	学校と情報の共有を行い、連携できるよう働きかけを行っている。学校生活において必要な支援については必要に応じて会議を行い支援内容を設定している。	

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	4	個別支援であるため、1人でプログラムを立てる。しかし複数担当の時には話し合い、1人でも意見を求めたりしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	慣れるまでは固定化している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	3	状況に応じて小集団の活動を取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	その日には難しいが、次回利用者が来所する前までには申し送りを必ず設けている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	4	その日には難しいが、次回利用者が来所する前までには申し送りを必ず設けている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	支援の日からなるべく早く記録を残し、改善方法を考えながら次回の支援について考えている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	半年に1回のモニタリングを行い、計画の変更が必要かどうかを考え、見直しをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	状況に応じて基本活動を組み合わせ支援を行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	利用者が行いたくないかどうかを伝えるように声掛けを行っており、気分でない時には他に何を行いたいかを一緒に考えている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	保護者や関係機関が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	小学校、中学校と連携できる体制と作っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	2	送迎を行っていないため、連絡調整は普段から行っていないが、情報の共有を行うために働きかけている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	5	今年度より、地域の小学校や保育園等と連携を進めているため、今後は保育園、幼稚園を始め関連する事業所と情報共有を図っていく。	今後は保育園、幼稚園を始め関連する事業所と情報共有を図っていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	6		障がい福祉サービス事業所等と連携が出来ていないため、事業所の交流会で連携を取れるように関係作りをしていきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	5		地域の児童発達支援センターと連携が取れるように働きかけていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	7	個別での療育であり、保護者からのニーズがないため行っていない。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3	地域の協議会には年間3回参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	毎回フィードバックを行い、その日の様子だけでなく、保護者からの情報をいただきながら利用者の状況について話をしている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	6	家族に対する個別相談は行っているが、研修の機会は設けていない。	ペアレントトレーニングについて学ぶ機会を得たい職員もいるため、研修を受けるなどして、今後企画していきたい。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時には運営規定、支援プログラム、利用者負担額について書面と共に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	原案を保護者に提示しながらモニタリングを行っており、本案ができた時にも違いがないか確認を取っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	家族支援を行ったり、学校の担任等と話をするなどして相談に乗り、対応等の助言を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	7		個別支援の性質上交流の機会を設けていないが、状況やご要望によっては交流の機会を設けていけるようにしていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	即日対応できるような体制を整えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	Instagramやブログを使って、校舎の雰囲気や教材などをあげている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	1	個人情報に記載された書類は個別のファイルに纏め、鍵付きの棚に保管している。 "書類に関しては施錠をする、机上では利用者様の名前が見えないように配慮している"	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	おこさまの特性に応じて伝達方法を変えるなど配慮を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7		地域住民の招待等行っていない。個別支援の性質上今後行う予定がない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	定期的に訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	毎月の防災訓練を行っており、避難経路の確認をしている。また、随時非常バックの中身を確認している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	熱性けいれん持ちの子の情報に関して情報共有し、対応方法も情報共有している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	4	食事やおやつ提供は行っていないが、イベントなどでおやつを配布する際は保護者に	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	毎月の防災訓練を行っており、避難経路の確認をしている。また、随時非常バックの中身を確認している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		家族への周知が出来ていなかったため、誰でも確認できるように掲示していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハット案件があった場合は、報告書を作成し再発防止に向けて話し合いを行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	定期的に虐待会議を行い、事業所内で気をつけなければならないこと、保護者から利用者への対応などを職員間での共有し、対策を講じている。	虐待案件にあてはまるかの判断が難しいこともあるため、情報の収集をしっかりと行っていく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	個別支援計画の更新時に身体拘束に関する文言を記載し、書面を見ながらご説明させて頂いている。		